

GREEN×EXPO 2027の開催に向けた 取組状況について

- 1 GREEN×EXPO 2027に向けた取組
- 2 ヨコハマ未来創造会議の活動状況

- 1 GREEN×EXPO 2027に向けた取組
- 2 ヨコハマ未来創造会議の活動状況

1 - (1) 機運醸成の取組 公式マスコットキャラクタートウクトウクについて

【記者発表会】

- 開催日 令和6年6月22日(土) 11:00~12:00
- 主催 (公社)2027年国際園芸博覧会協会
- 会場 ホテルニューグランド ペリー来航の間
- 内容

公式アンバサダー芦田愛菜さんによる、公式マスコットキャラクター名前発表のほか、会場周辺における県立横浜瀬谷高等学校の生徒による「フラワーロードプロジェクト」の活動紹介等



◀ 名前作者の北原やえさん

▼ 横浜瀬谷高等学校の活動の様子



トウクトウクの活用

約2メートルの
巨大バルーンの設置



6月～ : 開催1000日前に合わせた市庁舎2階壁面展示



8月: わくわく! こども夏祭り@市庁舎

秋頃には、トウクトウクと並んで写真を撮れるようなパネルを製作するなど、様々な場面で露出を増やしていきます。

開催1000日前に、公式マスコットキャラクターの名前が『トウungkトウungk』に決定しました！（応募総数約6,000件）



【プロフィール】

はるか宇宙の彼方から、地球に憧れてやってきた好奇心いっぱいの精霊、それがトウungkトウungkです。植物をはじめとした、この宇宙に生まれた万物の気持ちに共鳴しているので、その想いを人間に伝えてくれます。地球がきれいだとうれしくなって花を咲かせて踊ったり、地球が汚れると悲しくなって元気がなくなったりします。自然破壊・環境汚染などさまざまな課題を抱えているこの星で、人間と自然をつなぐ決意をしたキャラクターです。

〔性格〕 ドキドキ・ワクワクすることが好き。

〔特技〕 いろんな生きものや、ものの気持ちがわかる。

〔くせ〕 わくから外れて、飛び出そうとする。

〔夢〕 みんなの気持ちがつながって、みんながなかよしになること。

【名前について】

人といろいろな命が共鳴して、つながっている状態を表しています。このマスコットを通して、人間が万物への想像力や調和の心を取りもどすことの大切さが広がってほしい、という想いを込めて名付けました。

トウungkトウungk

地球の自然との、新たな関係を育むコミュニケーター

1 - (1) 機運醸成の取組 開催1000日前イベントの開催について

【市民向けキックオフイベント】

- 日 時 令和6年6月22日（土）、23日（日） 11:00～18:00
- 主 催 （公社）2027年国際園芸博覧会協会（共催：横浜市）
- 会 場 桜木町駅前広場、ランドマークプラザ ほか
- 来場者数 約3万人（2日間合計）
- 内 容
 - ・ フォトスポット、花・緑のガーデンや、子どもが遊べる遊具等の設置
 - ・ 環境配慮型の車の展示・試乗や花苗教室の実施
 - ・ 活動団体によるステージイベント（環境活動紹介、ライブペイントアート等）
 - ・ 親子で楽しむワークショップ（デジタルお絵描き、押し花アート等）
 - ・ GREEN×EXPOラッピングバス・収集車の展示



1 — (1) 機運醸成の取組 街なか装飾の実施について

開催1000日前を契機に、更なる機運の醸成を図るため、横浜駅からみなとみらいまでの幅広いエリアの駅周辺や商業施設等を統一的なデザインにより彩る、『街なか装飾』を実施しました。

【ポスター、サイネージ、フラッグなどの展開】（メイン期間：6/17～6/23）

■横浜駅エリア

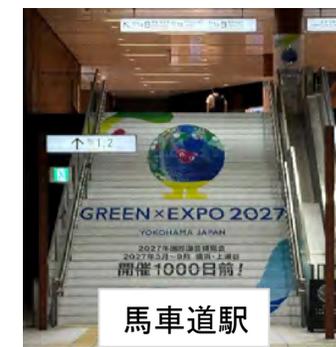
- 駅改札周辺
- 商業施設内（横浜ポルタ、CIAL横浜、NEWoMan、YCATシティ・エア・ターミナル、イオン横浜店など）

■みなとみらい・馬車道エリア

- 駅周辺（改札付近、駅前広場、野毛ちかみちなど）
- 商業施設内（クイーンズスクエア、東急スクエア、YOKOHAMA AIR CABIN駅舎、Kアリーナなど）
- 各通り（動く歩道、汽車道、さくら通り、けやき通り、国際大通り、万国橋など）

■その他エリア

- 南町田グランベリーパーク、たまプラーザテラス、ららぽーと横浜



1 - (1) 機運醸成の取組 街なか装飾の実施について

【鉄道・バスや観光施設等での展開】

■鉄道各社におけるアドトレイン

- 横浜市営地下鉄、東急東横線、京急線、相鉄線（各1編成）
運行期間：6月中旬～7月下旬
運行エリア：1都3県



■市営バス、ごみ収集車のGREEN×EXPOラッピング

- 開催1000日前を契機に、順次運行を開始（各100台）
- 開催1000日前イベントで車両展示を実施（6/22）



■観光施設やイベントとの連携

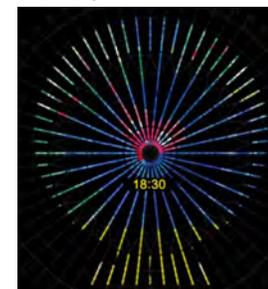
- 「横浜スパーリングトワイライト2024」において、花と緑をイメージした花火を打ち上げ（6/22）
- 大観覧車「コスモクロック21」で公式マスコットキャラクターの特別演出を実施（6/17～6/23）
- GREEN×EXPOの理念を表す「アースブルー」のライトアップを実施（6/22）

〈実施施設〉横浜マリンタワー、横浜美術館、横浜みなとみらいホール、ハマウイング、神奈川県庁舎、横浜市庁舎

ライトアップの様子



マリンタワー



コスモクロック21

1 - (1) 機運醸成の取組 今後の機運醸成の取組について

イベント月間【10月～11月】

区民まつりや秋祭りなど多くのイベントが開催される令和6年10月から11月までを「イベント月間」とし、集中的なプロモーションを展開します。

■ イベント出展

- 18区と連携し、区民まつりでのPRや、大規模イベント等との連携を中心に、積極的な広報展開を行います。

(例：10月 秋の里山ガーデンフェスタ、新横浜パフォーマンス、ワールドフェスタ・ヨコハマ、横浜マラソン、Y-SHIP / 11月 Live!横浜、SDGs未来都市・環境絵日記展 等)

■ 階段広告等の実施

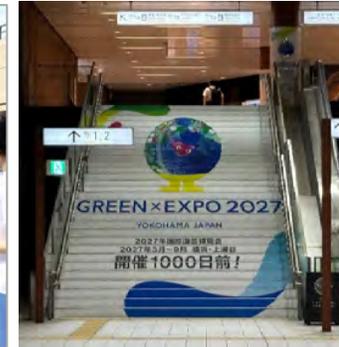
- 来街者や乗降客数が多い駅や公共空間において、統一的なデザインによる階段広告などを実施します。

■ 各種啓発物品等の作成

- 公式マスコットキャラクターのパネル等の掲出物、花の種等の頒布品を新たに制作し、イベントなどでPRします。



イベント出展イメージ



階段広告イメージ
令和6年6月
馬車道駅(再掲)

新規制作物品イメージ



花の種入りシート



コースター



パネル

出展の状況やその他会場計画等の進捗に応じて、積極的にプロモーションを展開します。

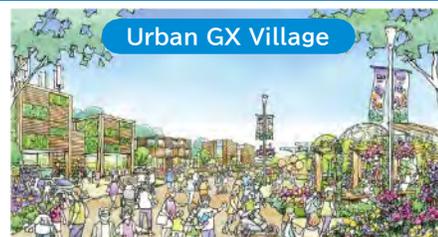
1 - (2) 会場計画の具体化 Village出展、花・緑出展 一次公募の状況について

- 「Village (ビレッジ) 出展」と「花・緑出展」の一次公募が7月末まで実施されました。

- 「**Village出展**」では脱炭素や生物多様性、サーキュラーエコノミーなど、5つのVillageのコンセプトに即した**9件の提案**、また、「**花・緑出展**」では会場を彩る庭園や花き等の展示の**358件の応募**を、**合計で367件447者**の多くの企業等の皆様からいただきました。

【応募状況】

Village出展 (展示施設と屋外空間により、体験やコンテンツを提供)	9件 32者
花・緑出展 (庭園や様々な品種の花き等を展示)	358件 415者
合計	367件 447者



Urban GX Village
脱炭素社会を目指して新たな技術を導入した未来の都市像を体感できます。



Farm & Food Village
健康を支える食と農が共存した生活と、その豊かさを実感できます。



SATOYAMA Village
日本の原風景である里山を体感し、生物多様性の価値を再認識します。



Craft Village
自然と共に生きる知恵と技が込められた、日本の伝統産業などの温故知新を体感できます。

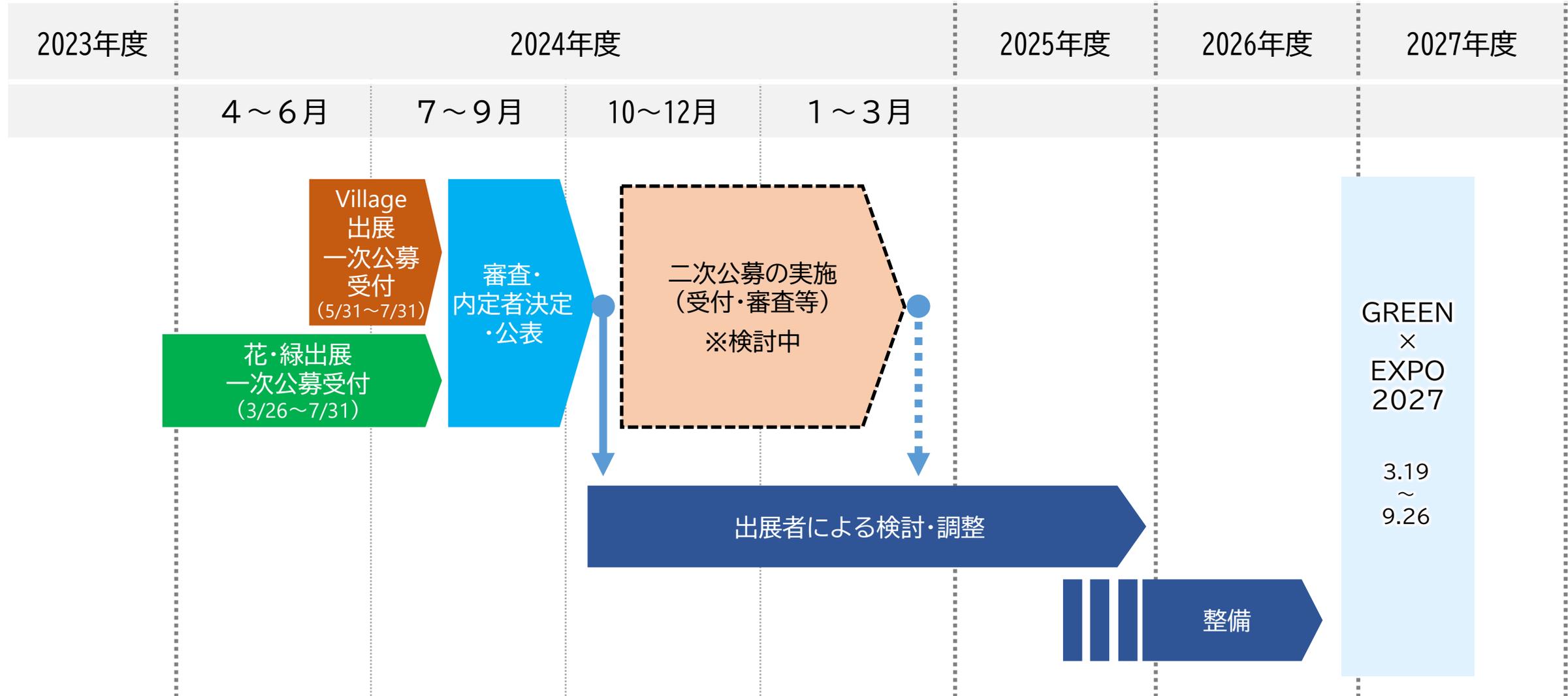


Kids Village
これからの地球を生きる子どもたちが、遊びを通じて自然の大切さを学べます。

- 引き続き、博覧会協会と連携しながら、会場計画の具体化に向けて取り組みます。

1 - (2) 会場計画の具体化 Village出展、花・緑出展 一次公募の状況について

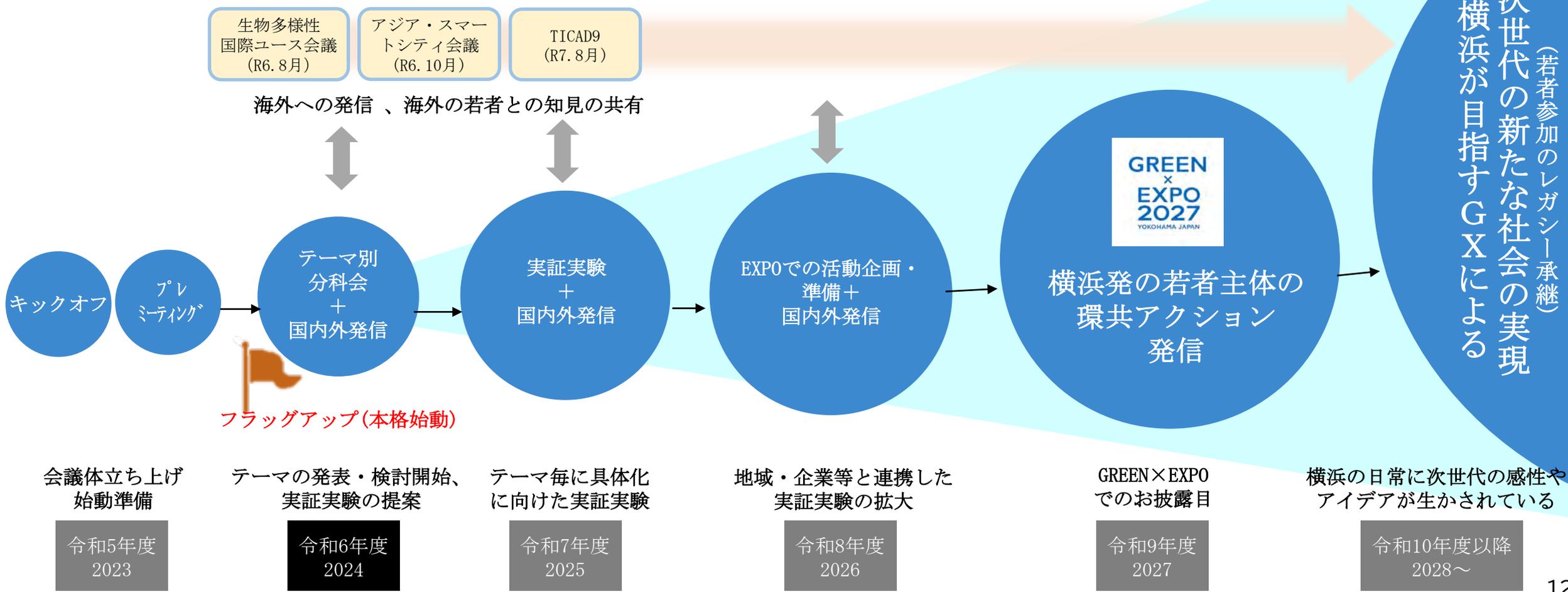
【参考】Village出展、花・緑出展 公募スケジュール



- 1 GREEN × EXPO 2027に向けた取組
- 2 **ヨコハマ未来創造会議の活動状況**

2 - (1) ヨコハマ未来創造会議について

- GREEN×EXPO 2027の開催を契機に、次世代を担う若者が参加して、議論し、アクションを起こすきっかけとなるプラットフォーム「**ヨコハマ未来創造会議**」が令和6年7月に**本格始動**しました。
- ここから生まれた**若者主体の環共アクション**をGREEN×EXPO 2027で発信し、次世代の新たな社会の実現につなげていきます。



2- (2) 本格始動した若者たちの活動内容（5つのテーマ別分科会）

新しいグリーン社会に向けて環境にやさしい生活や社会を目指し、若者たちが未来の横浜で実現したいテーマをもとに分科会を立ち上げました。 今年度は実証実験の提案（12月予定） を目指して活動を進めます。



サステナブルツーリズムから考える
新たな観光要素「(仮)シン・ヨコハマ」の発掘！



メンタルヘルス×ネイチャーポジティブで生まれる
持続可能なローカルコミュニティとは？



フードサーキュラーを起点に子どもの可能性を
最大化するには？～学校給食のフードロス～



横浜の海で植物が育てられたら？



インクルーシブな横浜のグローバルコミュニティ
から考える生物多様性を守るためのアクションとは？

2 - (3) 活動の国内外への発信

活動の節目でキーイベントを開催するほか、国際会議等と連携して「ヨコハマ未来創造会議」の活動を国内外に発信し、若者たちの活動に共感・応援いただく方を増やしながらか活動を推進していきます。

■ 「本格始動 “フラッグアップ” イベント」開催

- ・ 令和6年7月30日(火) @V1ag Yokohama (フラグヨコハマ)
- ・ 大学生、企業の若手社員等 約100名参加

<主なプログラム>

- ・ 若者たちによる本格始動宣言・アイデア(分科会テーマ)発表
- ・ GREEN×CAPTAIN 秋元真夏さん等による会員証お披露目



▲ イベントに集結した会議メンバーたち

会員証のお披露目 ▶



(会員証裏面)

気持ちをひとつに活動していけるよう、秋元さんがスローガン「あの時、横浜から。」を直筆

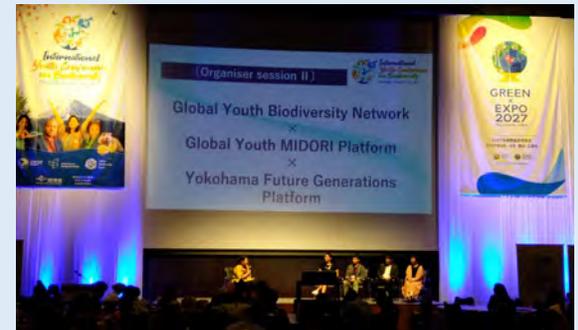


■ 「生物多様性国際ユース会議 横浜 2024」連携

- ・ 令和6年8月25日(日)～31日(土) @パシフィコ横浜ほか
- ・ 世界各国のユース (18～35歳) 約130名参加



◀ エクスカーション(街歩きツアー)を未来創造会議が企画・運営
※グループごとに、都心臨海部の脱炭素スポットを巡りながら、発見した生物等の数を競うゲーム形式のツアー



▲ ユース会議参加者と未来創造会議メンバーがパネルディスカッション

◀ 閉会式のサイドイベントに未来創造会議活動PRブースを出展